



①

春に になると、

大きな はらっぱは、

そこら中に 咲いた タンポポの

黄色い 花で いっぱいになります。

ハルジオンや スミレ、

オオイヌノフグリも

咲いています。

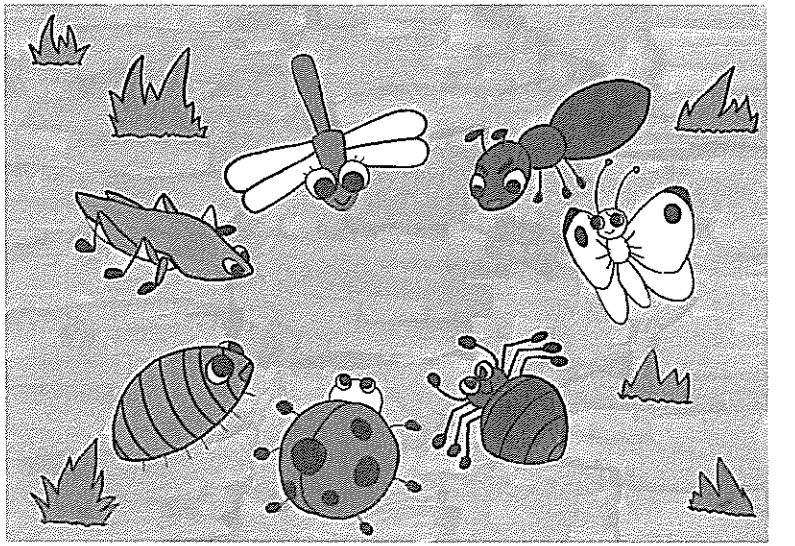
特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

address : 〒174-0063 東京都板橋区前野町4-8-6

tel & fax : 03-3960-6052

e-mail : info@npo-soe.jp

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



②

今日は はらっぱの かくれんぼ大会。

アリの セツカチくん。

モンシロチョウの ヒラリちゃん。

オニグモの スグオコルくん。

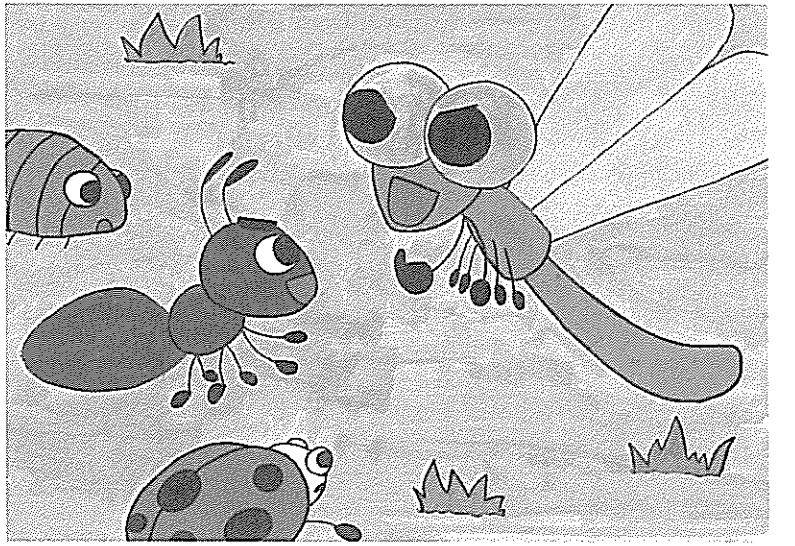
テントウムシの テンテケテンくん。

ダンゴムシの アシバッカリちゃん。

オンブバッタの カットビくん。

そして、

ナツアカネトンボの アツカンベーちゃんが
集まりました。



③

そこに、

「オレも 仲間に入れてくれ。」と、

嫌われ者の シオカラトンボの

オレッテカッコイイくんが

やってきました。

みんなは ちょっと

びっくり したけれど、

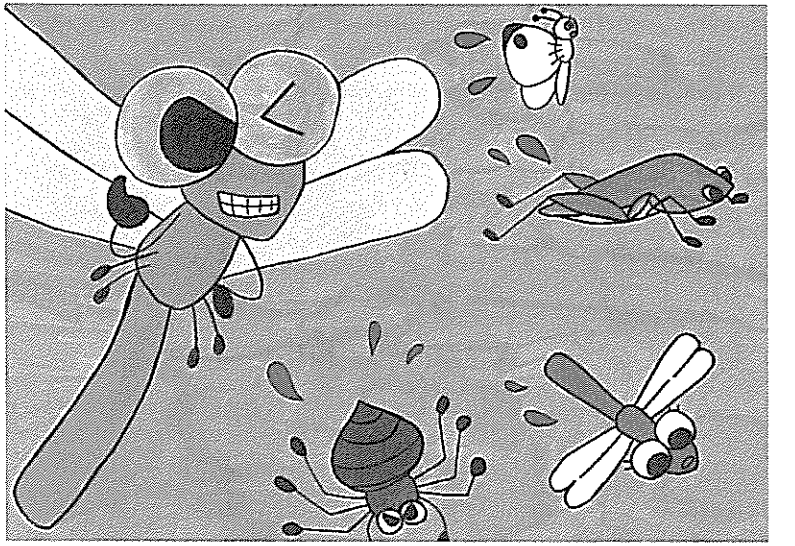
アリの セツカチくんが

「いいよ、 みんなで やろつよ。」と

言ったので、

オレッテカッコイイくんも

仲間になりました。



④

「オニやりたい子ー?」と

アツカンベーちゃんが言つと、

オレッテカッコイイくんが

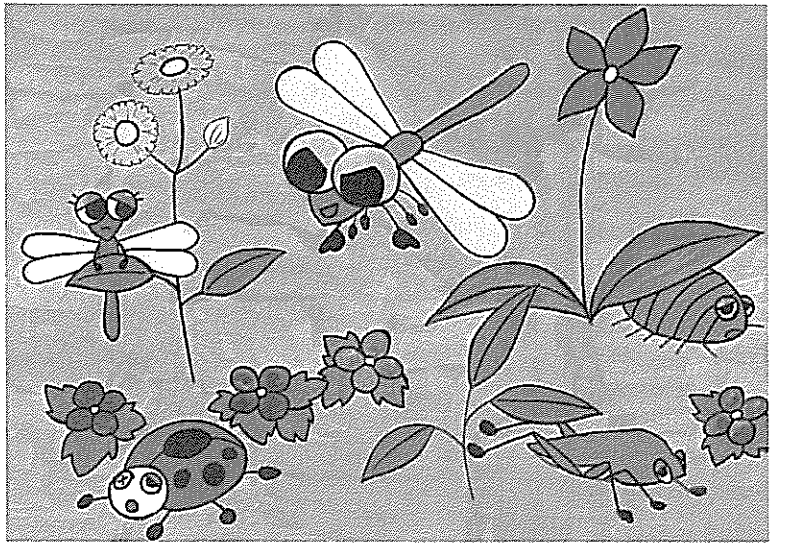
「オレ様が やるぜ!」

オレ様が このギョロギョロ

水色メガネで 空から みんなを

みつつけちゃうからな!」

みんな 大騒ぎで 逃げ出しました。



⑤

オレッテカッコイイくんは

低空飛行で スーイスイ、

ギローリギローリと 探します。

さっそく、

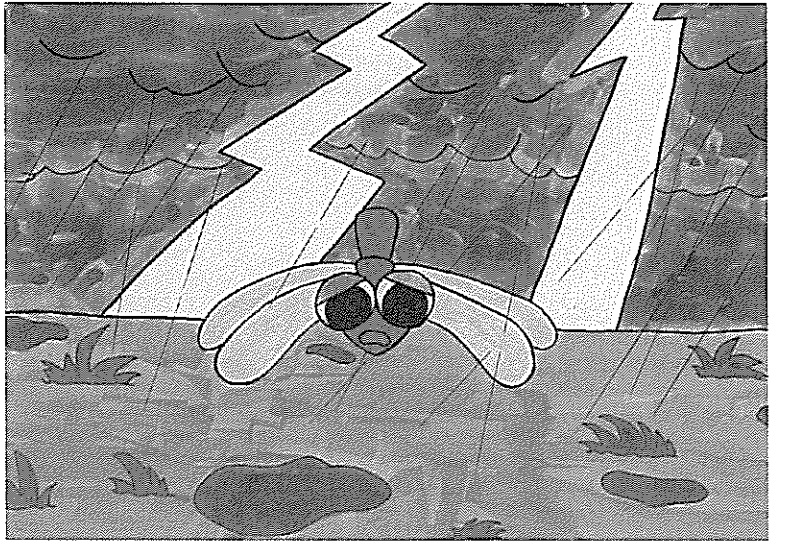
かくれている 仲間を 見つけ、

「アシバツカリちゃん みーっけ」

「カッタービくん みーっけ」

「テンテケテンくん みーっけ」

「アツカンベーちゃん みーっけ」



⑥

突然、

ゴロゴロと 雷がなったかと 思うと、

大粒の 雨が バラバラ 降ってきました。

セツカチくんと ヒラリちゃん、

スグオコルくんは

どこに いったのでしょうか。

ギローリギローリと 探している

オレッテカッコイイくんは、

大粒の 雨に ぬれながら、

休まずに 三人を 探しまわっています。

もう全身が ビショビショで、

羽が 折れそうに なっています。



⑦

「早く羽を乾かして」

ヒラリちゃんの言葉に、

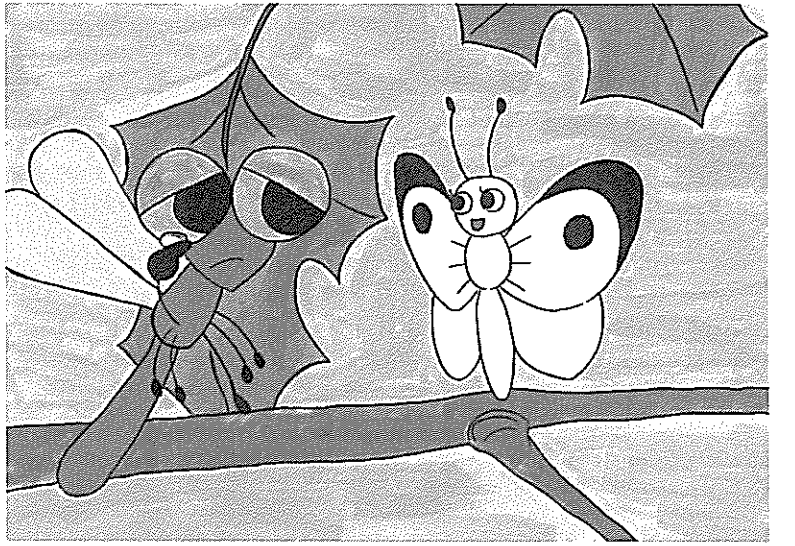
オレッテカッコイイくんは、

ギロリと 目玉を 動かし、

ぐすんと うれし涙を 飲み込みました。

こんな 優しい 言葉を かけられたのは、

はじめてだったからです。



⑧

「逃げるの早いなあ、

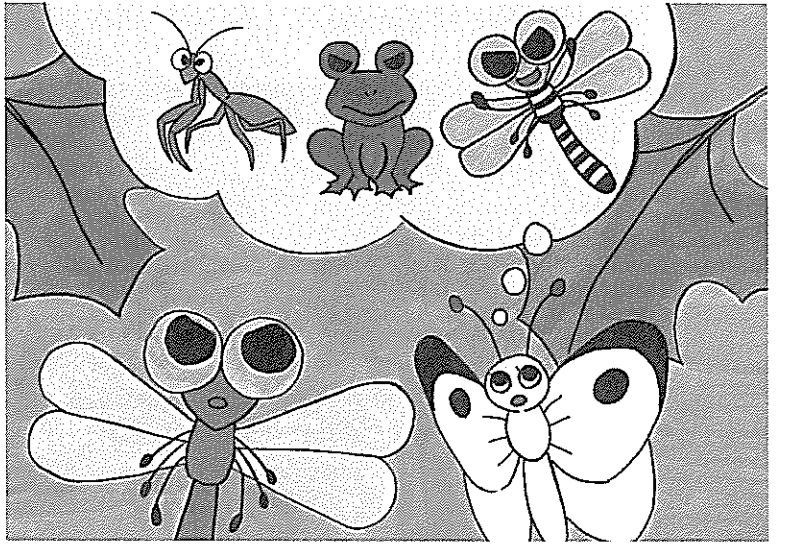
ヒラリは」

「私、雨が降りそうな時は、

すぐに葉の陰に隠れるの。

ぬれたら飛べなくなっ

誰かのエサになっ



⑨

「誰が お前を 食べるって?」

「カマキリとか、カエルとか、

トンボとか」

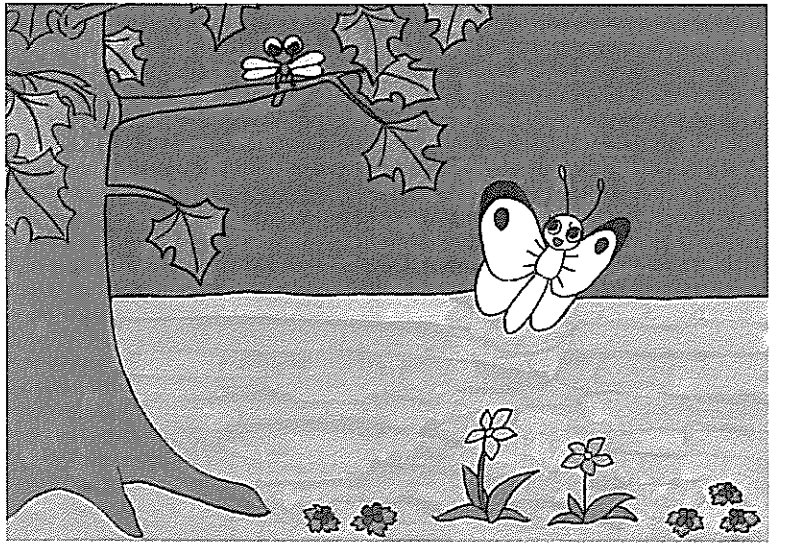
オレットカッコイイくんは、

ヒラリちゃんを 見て、

お腹が ペコペコなのに 気づいて、

「オレだって、お前を 食べたいよ」と
いうのを、

必死に ガマンしていました。



10

「オニグモの スグオコルくんは、
どこに 行った？」

あいつは 見つけると

すぐ 怒るからなあ。

セツカチくんは、

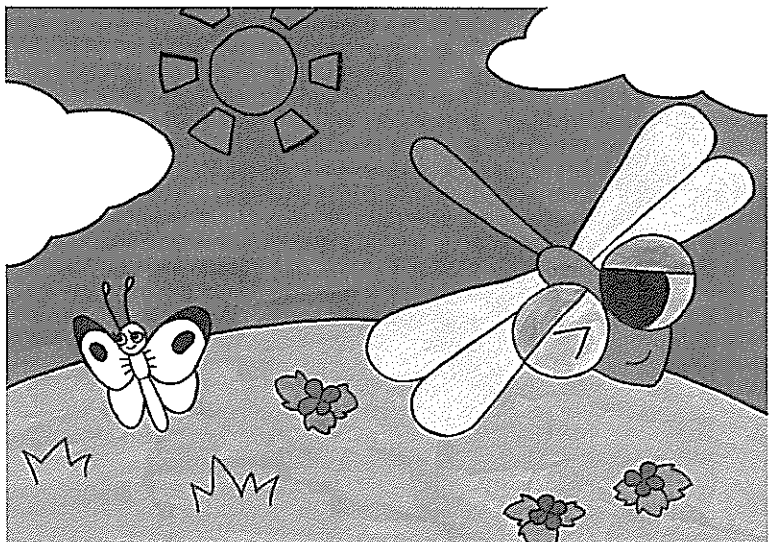
深い 土の 中に 隠れるから、

見つからないよな。」

お腹が すいたのを 忘れて、

スグオコルくんと セツカチくんを

探しに 飛んでいきました。



11

そして、

ヒラリちゃんが

目の前を 飛んでいっても

「ヒラリちゃんみーっけ」と

いうのを ガマンしていました。

原っぱの 仲間たちは、

どこかに 隠れているのでしょーう。

みなさんで、 そーっと

生き物の いるところを、

のぞきに 行ってみましょーう。